

平成20年度 報告

< 事業内容 >

活動1. 「薪炭の地産地消」に関する活動の情報集積及び発信

【時期】2008年8月～2008年11月

【内容】モデル地域(東京都西多摩地域)内で薪炭の生産、流通、消費に関わる団体・企業の所在地、事業内容、取り扱う薪炭の種別等の情報を網羅的に収集・整理した。なお、生産者・利用者へのヒアリング調査も行った(以下写真参照)。さらに、検討結果をホームページ等で発信した。また、ネットワーク構築に向けた情報発信の一環として、西多摩地域で活動する炭やき団体・拠点の所在や活動概要を示した「多摩炭やきマップ」を作成した。



活動2.「薪炭の地産地消」のモデル検討

【内容】上記、調査結果を踏まえ、検討会(オープンミーティング)を計3回都内で開催し、モデル地域での地産地消型薪炭利用活動の展開方策と、全国展開のあり方を検討した。

第1回オープンミーティング「東京の薪炭利用を考える」

【日時】2008年11月29日(土) 14:30～16:30

【会場】多摩社会教育館 会議室

(東京都立川市錦町6-3-1東京都多摩教育センター内)

【内容】事務局から東京の薪炭利用・流通・消費に関する情報と、全国でのユニークな事例を紹介した上で、参加者でディスカッションを行った。

第2回オープンミーティング「木炭の流通の実態を探る」

【日時】2009年1月29日(木) 18:00～20:30

【会場】(財)早稲田奉仕園 AVACOビル6階 4号室

(東京都新宿区西早稲田2-3-1)

【内容】日本唯一の木炭専門紙である、「チャコールタイムス」主幹・杉山博雅氏に、ゲストスピーカーとして、木炭の流通の実態について話題提供を頂き、国産木炭、さらには東京都産木炭の生産・流通・利用のボトルネック、利用促進の可能性等について、ディスカッションを行った。

【講師】杉山博雅氏(木炭専門紙「チャコールタイムス」主幹)

第3回オープンミーティング「都心で薪を使う。その工夫とこだわり」

【日時】2009年2月18日(水) 18:30～20:30

【会場】エビス303(エビススバルビル)4階 会議室406

(東京都渋谷区恵比寿一丁目20番8号)

【内容】本場のナポリピッツアの味と伝統を守り伝える「真のナポリピッツァ協会」日本支部の副支部長であり、総料理長として、都心部で薪窯のピッツェリア「パルテノペ」を切り盛りされている渡辺 陽一氏をお呼びし、ナポリピッツァという伝統料理の魅力、真のナポリピッツァ協会の目的と活動、「都心で薪を使う」ことのこだわり、工夫、苦労等をお話頂き、東京都で薪を生産・利用するための課題・可能性についてディスカッションを行った。また、ミーティング後に、渡辺氏の店舗「ピッツェリアパルテノペ 恵比寿店」で、薪窯の視察、試食を行った(以下写真参考)。

【講師】渡辺 陽一氏(パルテノペ 総料理長 店舗営業部長、真のナポリピッツァ協会日本支部副支部長)



活動3.「火のある暮らしシンポジウム2009」の開催

【日時】2009年4月19日(日) 13:30～16:30

【内容】シンポジウムは2部構成で行った。

第1部では、信州で30年前から薪ストーブライフを実践され、また、薪ストーブの輸入代理店を運営されているポール・キャスナー氏に「火のある暮らし」の魅力と工夫について、薪割りの実演も交えてご講演頂いた。

第2部では、地域の森林と暮らしをつなげる活動をされているNPO4団体に、活動を紹介して頂き、火のある暮らし、そして、身近な森林とかかわる暮らしを実現するために、個人ができること、みんなで取り組むべきことについてディスカッションした。

また、併催イベント(多摩炭やきサミット2009実行委員会と共催)として、モデル地域である西多摩地域で活動する炭焼き団体の活動紹介パネル展『こもれびの里展 炭を大地へ～里での炭の活用と多摩の炭やき団体紹介～』や、炭を使った工作イベント『炭の実験と工作～炭の実力を試す!』も併せて開催した。

【構成】シンポジウムのタイムスケジュールは以下の通り。

13:30～15:00 第1部 火のある暮らし講演会

『薪ストーブライフ30年。ポールさんが語る『火のある暮らし』の魅力と工夫』

講師 ポール・キャスナー氏

(ファイヤーサイド株式会社代表取締役、薪ストーブ料理研究家)

15:00～16:30 第2部 火のある暮らし交流会

『はじめてみよう!地域の森で、火のある暮らし。』

日本の森林を育てる薪炭キャンペーンの紹介

薪炭キャンペーン 嶋田俊平

全国で活動するNPOの活動紹介

ふくしま薪ネット 渡部昌俊氏

薪ストーブユーザークラブ「薪ネット」の取り組みについて

薪く炭くKYOTO 成田真澄氏、松田直子氏

薪炭マップ、薪炭ツアー、薪炭環境教育等の取り組みについて

エコロジーオンライン 岩間敏彦氏

里山どんぐり募金、「里山にピザ窯を」プロジェクトの取り組みについて
NPO法人よこはま里山研究所(NORA) 松村正治氏
人と里山の豊かな関係を結び直す様々な取り組みについて
パネルディスカッション

【併催イベント】多摩炭やきサミット2009実行委員会(西多摩地域で活動する炭焼き団体のネットワーク組織)と共催で、以下のイベントも開催した。

4月11日(土)～5月6日(水・祝)

『こもれびの里展 炭を大地へ

～ 里での炭の活用と多摩の炭やき団体紹介 ～』

4月18日(土)

『炭の実験と工作～炭の実力を試す!』

【参加者】『火のある暮らしシンポジウム』 約50名

『炭の実験と工作～炭の実力を試す!』 約40名

『こもれびの里展』 500名以上

